

エコアクション21

環境経営レポート

第 9 版

(対象期間：令和5年7月～令和6年6月)



令和 6 年 7 月 15日発行



有限会社 田所建設

高知県安芸郡北川村野友乙530番地1

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価と見直しの結果
11. 環境活動取組状況

発行日： 令和 6年 7月 15日

発行責任者：環境管理責任者 田所慎二



1. 組織の概要

【事業所名】	有限会社 田所建設
【代表者氏名】	田所 謙二
【所在地】	本 社 高知県安芸郡北川村野友乙530-1 第1倉庫 高知県安芸郡北川村野友乙423-2 第2倉庫 高知県安芸郡北川村野友乙813-7 資材置場 高知県安芸郡北川村長山655-1
【環境管理責任者氏名】	田所 慎二
【連絡先担当者】	長岡 冬花
【連絡先】	TEL : 0887-38-5437 FAX : 0887-38-5618 E-mail : tadokoro@grace.ocn.ne.jp
【事業活動の内容】	建設業（主に道路、河川等の土木工事を行っています。）
【建設業許可】	
許可番号	高知県知事 許可（特-3）第9948号
許可年月日	令和3年11月22日
建設業の種類	土木工事業 とび・土工事業 舗装工事業 鋼構造物工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業 石工事業 塗装工事業 解体工事業
許可番号	高知県知事 許可（般-3）第9948号
許可年月日	令和3年11月22日
建設業の種類	管工事業
【事業規模】	
設立年月日	昭和57年 7月設立
資本金	2,000万円
完成工事高	5億2345万円 （決算時期 令和5年7月1日～令和6年6月30日）
従業員数	24人 （令和6年6月現在）
敷地面積	本社 400㎡ 第1倉庫 1,917㎡ 第2倉庫 410㎡ 資材置場 1,000㎡
床面積	本社 204.88㎡ 第1倉庫 450㎡ 第2倉庫 257.61㎡

【対象範囲（認証・登録範囲）】 有限会社 田所建設
本社、第1倉庫、第2倉庫、資材置場

【レポートの対象期間】 令和5年7月 ～ 令和6年6月

【環境経営レポートの発行日】 令和 6年 7月 15日

【次回環境経営レポートの発行予定日】 令和7年8月予定

【作成責任者】 環境管理責任者 田所 慎二

3. 環境経営方針

【環境理念】

当社は、自然豊かな高知県の北川村で建設業を行っている企業として、地域の環境保全に自主的・積極的に関わり、継続的に環境負荷の削減を推進し広く地域社会に貢献してまいります。

【環境経営方針】

1. 電力・車両及び重機等の燃料消費削減により、二酸化炭素排出量の削減。
2. 本社・倉庫及び建設現場における廃棄物の3R（減量・再利用・再生利用）の推進。
3. 節水による水使用量の削減。
4. 北川村の基幹産業である柚子を守る為にも、環境への負荷に配慮した機械・工法の推進により周辺地域に配慮します。
5. ロードボランティア・社会貢献活動に積極的に参加し、地域環境保全に努めます。
6. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
7. 全社員にこの環境経営方針を周知徹底すると共に、環境経営レポートを外部に公表します。

制定日 平成28年 1月 1日

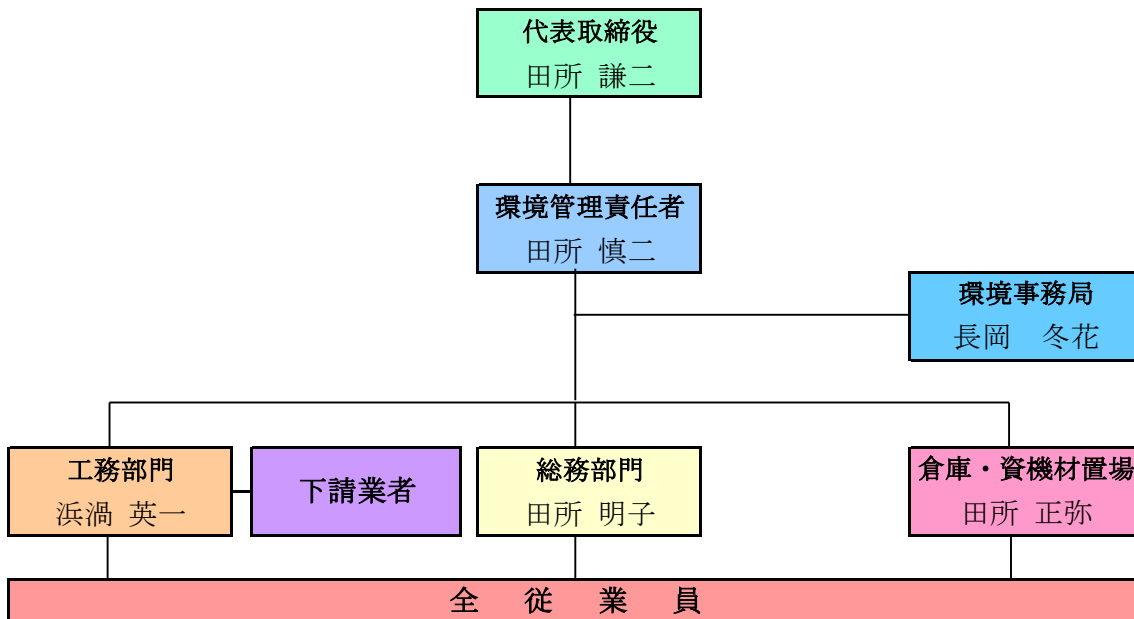
改定日 令和元年 7月 1日

有限会社 田所建設

代表取締役



4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに関する経営資源の確保 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し、及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・EA21全体の評価・見直し ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標・環境経営計画を確認 ・環境経営計画の取り組み結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェック実施 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境経営レポートの作成
工務部門 総務部門 倉庫・資機材置場	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動に参加

5. 環 境 経 営 目 標

《全 体》

(1) 単年度目標

項 目	単位	基 準 値 (4 年 平 均 値)	目 標 (基準値より -6%)
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6
軽 油	ℓ	72, 301	67, 963
ガソリン	ℓ	14, 111	13, 264
電力使用量	k W h	23, 762	22, 336
C O ₂ 排出量	kg-CO ₂	239, 113	224, 766
水使用量	m ³	1, 685	1, 584
産業廃棄物排出量	%	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上
一般廃棄物排出量	k g	410	385
環境配慮工事	件	全件	全件
社会貢献活動	回	12	12

- ・電力のC O₂排出係数は、電気事業者別のCO₂排出係数の四国電力調整後排出係数0. 0. 526kg-CO₂/ k W hを使用。
- ・環境配慮工事：受注工事の全件を対象とし、環境負荷の少ない工事。
- ・化学物質使用量の削減は、該当工事がない為目標設定なし。

(2) 中長期目標

項 目	単位	基 準 値 (4年平均値)	目 標 (基準値より -6%)	目 標 (基準値より -7%)	目 標 (基準値より -8%)	目 標 (基準値より -9%)
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6	R6. 7～R7. 6	R7. 7～R8. 6	R8. 7～R9. 6
軽油	ℓ	72, 301	67, 963	67, 240	66, 517	65, 794
ガソリン	ℓ	14, 111	13, 264	13, 123	12, 982	12, 841
電力使用量	k W h	23, 762	22, 336	22, 099	21, 861	21, 623
C O ₂ 排出量	kg-CO ₂	239, 113	224, 766	222, 375	219, 984	217, 593
水使用量	m ³	1, 685	1, 584	1, 567	1, 550	1, 533
産業廃棄物排出量	%	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上
一般廃棄物排出量	k g	410	385	381	377	373
環境配慮工事	件	全件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動	回	12	12	12	12	12

《事 務 所》

(1) 単年度目標

項 目	単位	基 準 値 (4 年 平 均 値)	目 標 (基準値より -6%)
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6
軽 油	ℓ	—	—
ガソリン	ℓ	3, 793	3, 565
電力使用量	k W h	23, 762	22, 336
C O ₂ 排出量	kg-CO ₂	25, 416	23, 891
水使用量	m ³	1, 685	1, 584
一般廃棄物排出量	k g	410	385

・電力のC O₂ 排出係数は、電気事業者別のCO₂排出係数の四国電力調整後排出係数0. 526kg-CO₂/ k Whを使用。

(2) 中長期目標

項 目	単位	基 準 値 (4年平均値)	目 標 (基準値より -6%)	目 標 (基準値より -7%)	目 標 (基準値より -8%)	目 標 (基準値より -9%)
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6	R6. 7～R7. 6	R7. 7～R8. 6	R8. 7～R9. 6
軽油	ℓ	—	—	—	—	—
ガソリン	ℓ	3, 793	3, 565	3, 527	3, 490	3, 452
電力使用量	k W h	23, 762	22, 336	22, 099	21, 861	21, 623
C O ₂ 排出量	kg-CO ₂	25, 416	23, 891	23, 637	23, 383	23, 129
水使用量	m ³	1, 685	1, 584	1, 567	1, 550	1, 533
一般廃棄物排出量	k g	410	385	381	377	373

《現 場》

(1) 単年度目標

項 目	単位	基 準 値 (4 年 平 均 値)	目 標 (基準値より -6%)
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6
軽 油	ℓ	72, 301	67, 963
ガソリン	ℓ	10, 318	9, 699
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	213, 697	200, 875
産業廃棄物排出量	%	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上
環境配慮工事	件	全件	全件
社会貢献活動	回	12	12

・環境配慮工事：受注工事の全件を対象とし、環境負荷の少ない工事。

(2) 中長期目標

項 目	単位	基 準 値 (4年平均値)	目 標 (基準値より -6%)	目 標 (基準値より -7%)	目 標 (基準値より -8%)	目 標 (基準値より -9%)
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6	R6. 7～R7. 6	R7. 7～R8. 6	R7. 7～R8. 6
軽油	ℓ	72, 301	67, 963	67, 240	66, 517	65, 794
ガソリン	ℓ	10, 318	9, 699	9, 596	9, 493	9, 389
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	213, 697	200, 875	198, 738	196, 601	194, 464
産業廃棄物排出量	%	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上
環境配慮工事	件	全件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動	回	12	12	12	12	12

6. 環境経営計画

期 間： 令和5年7月 ～ 令和6年6月

【 事 務 所 】

具 体 的 な 取 り 組 み		関連SDGs 	日 程	責 任 者
車両の使用によるCO2排出量削減	・エコドライブの推進	 	常時	総務部 長岡冬花
	・車両の定期的な点検整備		月1回	
	・アイドリングストップの徹底		常時	
電気使用におけるCO2排出量削減	・エアコンの温度設定管理	 	常時	総務部 長岡冬花
	・エアコンの定期的な清掃		年4回	
	・昼休み、不要時の消灯		常時	
	・パソコン不使用時の電源オフ		常時	
	・OA機器の省電力設定		常時	
一般廃棄物排出量の削減	・両面印刷・両面コピー・使用済み用紙の利用促進		常時	総務部 長岡冬花
	・ゴミの分別によるリサイクルの促進		常時	
	・ミスプリントを減らす		常時	
	・データ保存の実施		常時	
総排水量の削減	・節水の啓発		常時	総務部 田所明子
	・漏水のチェック		年4回	
社会貢献活動	・事務所周辺の清掃活動	 	月1回	総務部 田所明子
	・地域行事への参加		月1回	

【 現 場 】

具 体 的 な 取 り 組 み		関連SDGs 	日 程	責 任 者
重機・車両の使用によるCO2排出量削減	・エコドライブの推進	 	常時	工務部 浜渦英一
	・重機・車両の定期的な点検整備		月1回	
	・アイドリングストップの徹底		常時	
	・同一現場への乗合せでの移動		常時	
	・資機材の運搬の効率化		常時	
	・ICT施工の推進		必要工事時	
産業廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別の徹底	  	常時	工務部 浜渦英一
	・産業廃棄物の適正処理・リサイクルの促進		常時	
	・再生品の利用促進		常時	
環境配慮工事	・環境に配慮した施工方法を提案する。	   	施工前	工務部 田所正弥
	・低騒音・排出ガス対策型機械の使用		現場使用時	
	・環境配慮の工夫（濁水対策・粉塵対策等）を行う		必要工事時	
社会貢献活動	・ロードボランティア活動の実施	 	月1回	工務部 田所慎二
	・現場周辺の清掃活動		月1回	
	・地域住民の要望の聞き取りを行う。		現場作業時	

7. 環境経営目標の実績

《全 体》

令和5年7月から令和6年6月

項目	単位	基準年	目標 (-6%)	実績	目標達成状況	
		H26.7～H30.6	R5.7～R6.6	R5.7～R6.6		
軽油	L	72,301	67,963	52,979	○	ICT建設機械を使用することで、作業工程が早くなり重機の使用時間を短縮することができていた。
ガソリン	L	14,111	13,264	12,748	○	講習などをオンラインなどで受講するようにし、また現場までは乗り合わせで行くようにすることで達成できた。
電力使用量	kWh	23,762	22,336	20,988	○	事務所内にサーキュレーターを設置し、空気を循環させることで快適な温度で過ごすことができていた。社内や倉庫などの電気をLEDに変更した。
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	239,113	224,766	177,303	○	ICT施工を行ったり、省エネ機械を使用してCo ₂ 排出量を抑えることができていた。
水使用量	m ³	1,685	1,584	1,173	○	事務所内で使用頻度が高いトイレの手洗い場を自動にすることで節水ができていた。また、会社全体での節水も意識されている。
産業廃棄物排出量	%	再資源化率 95%以上	再資源化率 95%以上	100% (1202.7t)	○	現場毎に適正に処分できた。
一般廃棄物排出量	kg	410	385	384	○	両面印刷と使用済みの裏面の使用を心掛けて印刷枚数を減らすことができていた。
環境配慮工事	件	全件	全件	全件	○	道路横のブロック積の現場打部分に同じ模様の化粧型枠を使用し、周辺の景観へ調和を図った。
社会貢献活動	回	12	12	12	○	毎月、ロードボランティア活動（ゴミ拾い・カーブミラー清掃）を計画通り実施できた。

※判定：○達成できている ×未達成

電力のCO₂排出係数は、四国電力調整後排出係数0.526kg-CO₂/kWhを使用。

《事 務 所》

令和5年7月～令和6年6月

項 目	単位	基準年	目標 (-6%)	実績	目標達成状況
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6	R5. 7～R6. 6	
軽油	L	—	—	—	—
ガソリン	L	3, 793	3, 565	4, 253	×
電力使用量	k W h	23, 762	22, 336	20, 988	○
C O ₂ 排出量	kg-CO ₂	25, 416	23, 891	20, 907	○
水使用量	m ³	1, 685	1, 584	1, 173	○
一般廃棄物排出量	k g	410	385	384	○

《現 場》

令和5年7月～令和6年6月

項 目	単位	基準年	目標 (-6%)	実績	目標達成状況
		H26. 7～H30. 6	R5. 7～R6. 6	R5. 7～R6. 6	
軽油	L	72, 301	67, 963	52, 979	○
ガソリン	L	10, 318	9, 699	8, 495	○
C O ₂ 排出量	kg-CO ₂	213, 697	200, 875	156, 396	○
産業廃棄物排出量	%	再資源化率95%以上	再資源化率95%以上	100%	○
環境配慮工事	件	全件	全件	全件	○
社会貢献活動	回	12	12	12	○

※判定：○達成できている ×未達成

電力のCO₂排出係数は、四国電力調整後排出係数0.526kg-CO₂/kWhを使用。

8. 環境経営計画の取組計画と評価・及び次年度の取組み内容

【 事 務 所 】

報告担当：総務部

令和5年7月～令和6年6月

具 体 的 な 取 り 組 み		達成 状況	コ メ ン ト	次年度取組
車両の使用による CO2排出量削減	・エコドライブの推進	○	エコドライブ10を会社全体で取り組んでいる。	会社全体で意識して引き続き実施していく。
	・車両の定期的な点検整備	○	毎月15日に早出点検を実施することで、車両や重機ともに不備がないか確認することができた。	
	・アイドリングストップの徹底	○	会社全体で徹底して取り組んでいる。	
電気使用における CO2排出量削減	・エアコンの温度設定管理	○	サーキュレーターを使用し温度を保ちつつ快適な温度で作業することができた。	継続して実施していく。
	・エアコンの定期的な清掃	○	年4回実施できた。	
	・昼休み、不要時の消灯	○	昼休み時、最後に事務所を出る者が消すように徹底してできていた。	
	・パソコン不使用時の電源オフ	○	長期時間使用しないときや、退社時などに各自パソコンの電源オフを心掛けてできていた。	
	・OA機器の省電力設定	○	実施できている。	
一般廃棄物 排出量の削減	・両面印刷・両面コピー・使用済み用紙の利用促進	○	PCの印刷設定を両面印刷にしておくことで、用紙を減らすことができています。	継続して実施していく。
	・ゴミの分別によるリサイクルの促進	○	ごみ箱にシールを添付し徹底できた。	
	・ミспリントを減らす	○	印刷前に確認をしてミスがないかをチェックすることでミспリントを減らすことができています。	
	・データ保存の実施	○	データ保存をこまめに行うことができています。	
総排水量の削減	・節水の啓発	○	啓発のシールを手洗い場などに貼ることで、従業員全体で意識して節水を心掛けてできている。	会社全体で節水の啓発活動を引き続き実施していく。
	・漏水のチェック	○	定期的に確認し問題はなかった。	
社会貢献活動	・事務所周辺の清掃活動	○	落ち葉などを掃除したり草刈り作業ができた。	継続して実施する
	・地域行事への参加	○	重機体験のサポーターとして北川村のイベントに参加した。	来年度もイベントなどに積極的に参加していく。

【 現 場 】

報告担当：工務部

令和5年7月～令和6年6月

具 体 的 な 取 り 組 み		達成 状況	コ メ ン ト	次年度取組
重機・車両の 使用による CO2排出量削減	・エコドライブの推進	○	エコドライブの方法を記した文書を車両毎に備えている	社内コミュニケーションなどで指導しながらCO2削減活動を引き続き続けていく。
	・重機・車両の定期的な点検整備	○	毎月重機・車両の点検を行った。各現場毎の社内安全パトロールでも検査が適切に行われているか確認できている。	
	・アイドリングストップの徹底	○	駐停車時は、必ずエンジンをストップを徹底した。	
	・同一現場への乗合せでの移動	○	継続して使用するトラック類はなるべく現場に滞在させ、乗合せでの移動を行った。	
	・資機材の運搬の効率化	○	材料が多い時などは他現場でも協力して運搬を行い無駄なトラックの往復を防止した。	
	・ICT施工の推進	○	ICT機器の台数を増やし、使用頻度を高めた。	
産業廃棄物 排出量の削減	・廃棄物の分別の徹底	○	産廃置場を決めて種類毎に分別して処分した。	今後も適正に処理し、リサイクルや再生利用の促進をはかる。
	・産業廃棄物の適正処理・リサイクルの促進	○	マニフェスト管理と伝票を整理して確認した。	
	・再生品の利用促進	○	再生砕石などを利用している。	
環境配慮工事	・環境に配慮した施工方法を提案する。	○	工事前に創意工夫を提案して施工ができた。	創意工夫を提案し、環境に配慮した現場になるよう継続して実施する。
	・低騒音・排出ガス対策型機械の使用	○	重機は工事全体で使用した。動かさない時はエンジンをストップを徹底した。尿素SCRシステムを搭載したバックホウを積極的に使用した。	
	・環境配慮の工夫（濁水対策・粉塵対策等）を行う	○	散水による粉塵対策ができた。	
社会貢献活動	・ロードボランティア活動の実施	○	毎月、ゴミ拾い、カーブミラーなどの清掃活動をして、地域の環境美化に取り組んだ。	継続して実施する。
	・現場周辺の清掃活動	○	現場周辺のごみ拾いを定期的に行う。	継続して実施する。
	・地域住民の要望の聞き取りを行う。	○	工事説明の際に要望などがあれば聞き取り、コミュニケーションを取りながら工事が行えた。	継続して実施する。

※判定：○達成できている △一部達成できている ×未達成

8-1. 次年度の取組み内容

期 間： 令和6年7月 ～ 令和7年6月

【 事 務 所 】

具 体 的 な 取 り 組 み		関連SDGs	日 程	責 任 者
車両の使用によるCO2排出量削減	・エコドライブの推進	 	常時	総務部 長岡冬花
	・車両の定期的な点検整備		月1回	
	・タイヤ空気圧の適正維持		常時	
電気使用におけるCO2排出量削減	・エアコンの温度設定管理	 	常時	総務部 長岡冬花
	・エアコンの定期的な清掃		年4回	
	・昼休み、不要時の消灯		常時	
	・パソコン不使用時の電源オフ		常時	
	・OA機器の省電力設定		常時	
一般廃棄物排出量の削減	・両面印刷・両面コピー・使用済み用紙の利用促進		常時	総務部 長岡冬花
	・ゴミの分別によるリサイクルの促進		常時	
	・ミスプリントを減らす		常時	
	・ペーパーレス化を促進		常時	
総排水量の削減	・節水の啓発		常時	総務部 田所明子
	・漏水のチェック		年4回	
社会貢献活動	・事務所周辺の清掃活動	 	月1回	総務部 田所明子
	・地域行事への参加		月1回	

【 現 場 】

具 体 的 な 取 り 組 み		関連SDGs	日 程	責 任 者
重機・車両の使用によるCO2排出量削減	・エコドライブの推進	 	常時	工務部 浜渦英一
	・重機・車両の定期的な点検整備		月1回	
	・アイドリングストップの徹底		常時	
	・同一現場への乗合せでの移動		常時	
	・資機材の運搬の効率化		常時	
	・ICT活用によるエネルギー消費の抑制		必要工事時	
産業廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別の徹底	  	常時	工務部 浜渦英一
	・産業廃棄物の適正処理・リサイクルの促進		常時	
	・再生品の利用促進		常時	
環境配慮工事	・環境に配慮した施工方法を提案する。	   	施工前	工務部 田所正弥
	・低騒音・排出ガス対策型機械の使用		現場使用時	
	・環境配慮の工夫（濁水対策・粉塵対策等）を行う		必要工事時	
社会貢献活動	・ロードボランティア活動の実施	 	月1回	工務部 田所慎二
	・現場周辺の清掃活動		月1回	
	・地域住民の要望の聞き取りを行う。		現場作業時	

9. 環境関連法規等への遵守状況の確認、評価結果

* 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通り

適用される法規制	適用される事項（施設、物質、事業活動等）	状況
廃棄物処理法	・ 知事の許可を受けた収集運搬業者又は処理業者のそれぞれと契約 ・ 委託契約は書面で ・ 委託処理内容など必要事項記載 ・ 収集運搬業又は処理業の許可証添付 ・ 水銀使用製品産業廃棄物を含む	遵守
	・ 事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。	遵守
	・ 全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付	遵守
	・ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）A票、B2票、D票、E票を5年保存	遵守
	・ マニフェスト交付状況の報告書の作成、都道府県知事へ提出	遵守
	・ 多量排出事業者は産業廃棄物処理計画書および計画実施状況報告書を都道府県知事へ提出	今年度は該当無し
水銀廃棄物ガイドライン	・ 保管は混合しないように分ける。収集運搬での粉碎禁止	今年度は該当無し
資源有効利用促進法	・ 対象工事における再資源化の実施	今年度は該当無し
建設リサイクル法	・ 事業者の責務	今年度は該当無し
	・ 分別解体等の実施義務	今年度は該当無し
	・ 再資源化の実施義務	今年度は該当無し
家電リサイクル法	・ 特定家庭用機器の適正処分	今年度は該当無し
オフロード法	・ 基準適合機械の使用	遵守
	・ 適正燃料の使用	遵守
フロン排出抑制法	・ エアコンの3ヶ月に1回の簡易点検及び記録	遵守
	・ 重機の3ヶ月に1回の簡易点検及び記録	遵守
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	・ 対策型ステッカー貼付の建設機械使用	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	・ 対策型ステッカー貼付の建設機械使用	遵守
騒音規制法	・ 特定建設作業の実施の届出	該当無し
振動規制法	・ 特定建設作業の実施の届出	該当無し
水質汚濁防止法	・ 事業者の排水口において排水基準に適合しない排水を排出してはならない	遵守
河川法	・ 河川区域内で作業する場合、河川管理者への届け出	遵守
浄化槽法	・ 年3回の保守点検 ・ 年1回の法定検査及び清掃	遵守
高知県環境基本条例	・ 自然環境の適正な保全	遵守
北川村廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・ 不法投棄を誘発しないよう工事に伴う土砂、がれき、廃材等の整理に努めなければならない。	遵守
大気汚染防止法	・ 解体工事前に特定工事に該当するか否かの調査・説明 ・ 特定工事施工時には作業基準を遵守	該当無し

環境関連法規等の遵守状況

当事務所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

過去、訴訟や違反はありませんでした。

評価日 令和 6年 6月 30日
評価者 田所慎二

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 環境目標達成状況について

①二酸化炭素排出量削減

工事内容により変化するが、達成できた。

②電力使用削減

不要時の消灯の徹底と週休2日制工事が増えたことで削減できた。

③産業廃棄物排出量削減

再資源化率も達成でき、適正に処理できた。

④一般廃棄物排出量削減

電子データでの書類のやり取りが増えたことにより達成できた。

⑤環境配慮工事

ICT施工により作業効率を向上させた。

⑥社会貢献活動

計画通り実施できていた。継続して取り組む。

(2) 環境活動取組の実施状況について

環境理念・環境経営方針に基づいて実施できているが、今後も目標達成に向けて取り組んでいく。

(3) 環境関連法規等の遵守について

違反もなく遵守できている。

(4) 変更の必要性

なし。

(5) 前回指示事項に対する対応

①環境配慮工事

ICT施工に積極的に取り組み、3DMGバックホウの使用頻度を高くして作業効率を向上させたことで、重機稼働時間の削減が行えCO2排出量を抑えることができた。

②社会貢献活動

会社周辺と現場の清掃活動を定期的に行い、人家が集中する現場では特に工事内容の説明を通して地域住民とのコミュニケーションを図ったため、工事が円滑に行えた。

(6) 改善事項

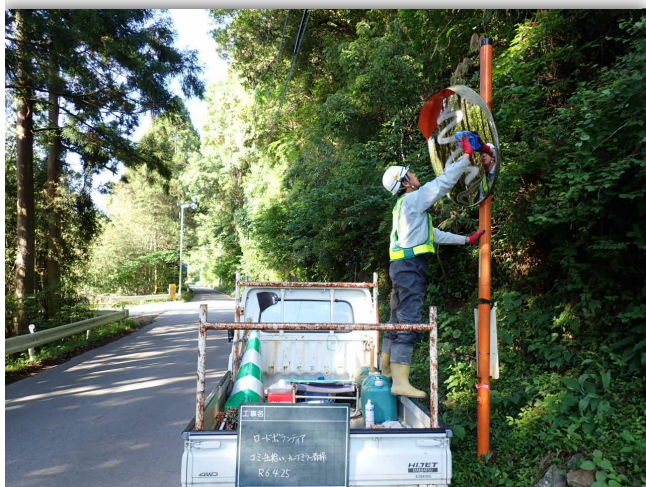
特になし。

(7) 総合評価及び見直し指示

ICT建機と尿素SCRシステム搭載重機を積極的に使用していく。
併せて、社内のICT施工を促進して生産性向上を図りながら、環境経営目標の達成を目指す。
今後も全社員が環境経営方針に基づいて、継続的に見直し改善を行いながら取り組んでいきます。



★ロードボランティア



★現場での道路清掃、ゴミ収集



★重機点検作業



11. 環境活動取組状況



★環境配慮工事 散水による粉塵対策



★高知県産間伐材を使用した工事看板



★ICT施工



★消火・油漏れ訓練





★啓発活動



高知県地球温暖化防止県民部会が、温暖化防止活動の一環として
高知県内の小学生を対象とした校外学習や活動を
支援するため、ICカード「ですか」の無料貸出を行う
交通エコポイント活用社会還元事業「ですかでゴー」を実施しています。

平成28年環境大臣表彰受賞

地球に優しい公共交通を利用しよう

交通エコポイント活用社会還元事業

ですかでゴー

事業運営のためのご寄付にご協力下さい!!

ICカード「ですか」の利用により蓄積された「交通エコポイント」を原資に温暖化防止活動の一環として、高知県地球温暖化防止県民部会が平成23年度より実施しています。

路面電車・バスでの移動がCO₂の排出抑制につながることを伝え、地域について学んだり活動したりする機会を提供しています。

この事業は高知県内の企業・団体の皆様からの寄付で支えられており、令和5年度は、110を超える企業・団体・個人様より約170万円の
ご支援をいただき、約3,000人の小学生の皆さんが「ですか」を利用し、校外活動を行いました。(令和6年2月現在)

とさ自由小学校4～6年生が
のいち動物公園での校外学習

**「ですか」を利用して
校外活動に行ってきた!**

公共交通を利用することが温暖化防止に
つながるんだって!

高知
市立
五ノ山小学校6年生が
県庁での防犯学習と県民部会への目撃

交通エコポイントとは?

ICカード「ですか」を使って公共交通を利用することで自動的に算出されるもので、車で移動した場合と比べてCO₂の排出を抑制したが見えるようにした数値です。

【ですか】HP http://www.desuca.co.jp/eeco_point.php

令和5年度寄付支援をいただいた企業・団体 (五十音順)

●株式会社 APM	●株式会社 徳島建設工業	●一般社団法人 高知県民会	●株式会社 徳島県庁	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●有限会社 アキチ	●株式会社 小島建設	●高知県生活協同組合連合会	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 石井建設	●株式会社 オフイス	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 井上建設	●株式会社 井上建設	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 井上建設	●株式会社 井上建設	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 井上建設	●株式会社 井上建設	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 井上建設	●株式会社 井上建設	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 井上建設	●株式会社 井上建設	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 井上建設	●株式会社 井上建設	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設
●株式会社 井上建設	●株式会社 井上建設	●コナミエンタテインメント株式会社	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設	●株式会社 徳島建設

Q どんな団体が利用できるの?
A 高知県内の小学校、放課後児童クラブ、地域の児童館や行事などに無料で貸し出しています。

Q 寄付の申し込みについては?
A 企業・団体は10万円から、学校関係者等個人は10千円からお申し込みいただけます。「エコアクション21」認証・登録企業は、当事業へのご寄付を「環境経営レポート」の活動実績として記載することができます。

高知県地球温暖化防止県民部会 高知県地球温暖化防止県民部会事務局 県民部会事務局 NPO法人 環境の社こうち
TEL:088-802-2201 FAX:088-802-2205 E-MAIL:k.bukai@npo-kankyonomori.com

感謝状



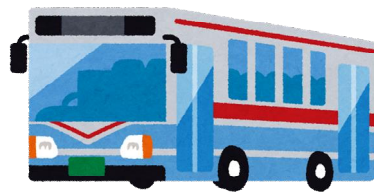
有限会社田所建設様

あなたは高知県地球温暖化防止県民部会の活動に深い理解を示されこの度交通エコポイント活用社会還元事業に2万交通エコポイント(CO₂削減量20t)相当の寄付をなされました
よってここにそのご厚意に対し深く感謝の意を表します

令和6年5月17日

高知県地球温暖化防止県民部会
会長 濱田 省司

交通エコポイント活用社会還元事業に
寄付しました!!
R6年 2万ポイント
(CO₂削減量20 t)



こうちSDGs推進企業登録

SDGs達成に向けた経営方針等

弊社は、経営理念である「常に新たな価値の創造に取組み、顧客に満足される技術を提供し、より良い地域社会の実現と発展に貢献する。」に基づき、社員全体がSDGsの重要性を理解し、目標達成に向けて活動していきます。



2030年までの長期目標を立て、
実現に向けて取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

